



甲佐町

# 商工会だより

発行所 甲佐町商工会  
 責任者 田中武敏  
 印刷 (有)スタアテック  
 熊本市白山1丁目5-12  
 TEL.096-372-6336  
 会員数 310名

消費税円滑化  
対策事業

## 「肥後の水資源愛護賞」受賞



10月17日メルパルクホールで、第17回「肥後の水資源愛護賞」の表彰式が開かれ、阿蘇町はたらの会他十団体と共に、我が甲佐町商工会女性部もその名誉ある賞をいただきました。

この賞は、「くまもとの日本一の地下水を子どもや孫に残そう」という「水」への深い思い入れと、永年お世話になった故郷に少しでも役に立ちたいとの一念から、肥後銀行と熊本日日新聞社とが始めた「肥後の水資源愛護賞」運動ですが、生活排水でよごれた川をきれいにしようという思いで16年間続けてきた廃油石鹸づくりが今回高く評価されての受賞で、部員の皆様の努力と協力の賜と心より嬉しく思います。

今回、私達、平成15年度「商工会女性部」正副部長がこの栄える表彰台に立たせていただきました。これからも環境づくりの一環として守り続けながら後世に受け継いで行きたいと思っています。

## 消費税講習会開催



本年度の消費税法の改正に伴い、商工会において11月12日(水)と25日(火)に分かれ消費税法の講習会が行われた。

今回の改正により、全体の八割以上の事業所が消費税の課税対象になると言われており、新たに申告も必要になる。また、所得に関係なく課税されるため、受講者の姿勢も真剣そのもの。講習会では様々な質問も飛び交い関心の高さが覗えた。

受講者は2日間を通して32名で、講師は当会青色申告会でもお馴染みの荒木勇二税理士。税法は内容が複雑で難しいが、荒木税理士のユーモアあふれる講義で受講者を飽きさせず、3時間の長丁場も盛会のうちに終了した。また、「節税のテクニック」や「落とし穴」など関心の高い部分についても詳しく説明があり、受講者からもよい反応を得ることができた。

なお、今回の改正内容は次のとおりである。

- 1.事業者免税点の引き下げ(3,000万円→1,000万円)
- 2.簡易課税制度の適用上限の引き下げ(2億円→5,000万円)
- 3.総額表示の義務付け(H16.4.1から適用)etc.

# 時間が輝くまちづくり

## 天領日田 県外視察研修レポート

去る、九月十二日、十三日の二日間にわたり商工会役員十七名で大分県日田市に於いて、市街地活性化並びに町づくりについての視察研修を実施致しました。

十二日午後三時過ぎからの研修は、用意された研修資料に基づき日田市の町づくりについて、商工会議所 佐々木専務様より詳しく説明がなされました。

印象的なことは、前年の長崎県東彼杵町の研修でもそうであったように、行政、議会、商工会、地域住民が一つの目的の為、一体となって協力していることであります。大分県日田市は人口六万人、規模は異なるけど日田市と甲佐町は幾つか類似点がありました。それは、豊かな歴史資源、「水郷の原風景」、緑豊かな山々、「伝統の祭」等々であり、日田市はこの豊かな資源を引き出し、町づくりの為、何よりも地域住民の合意を得て官民一体となり、長期的(十年)な基本計画案を策定(平成九年)し、それを確実に実行に移していることであります。

計画の中には、各地域の特性を生かした性格の異なる地区別ゾーンの確立と強化、又は日常生活及び観光の拠点となるシンボル事業を始め、中小小売り商業高度化事業等が計画に基づき展開し、更には大型企業(サッポロビール)の誘致が町の活性化に拍車をかけ、活き活きとした住民の暮らしを支えている。

今、「天領日田：時間(とき)が輝くまちづくり」は着実に進み、日田市まるごとブランド化、四季を感じる街並みづくりは近い将来、確実に実現するものと思われれます。

研修を終えて感じたことは、甲佐町も地域住民一人一人が、もつと真剣に町の発展のことを考え、大きなうねりを起こし、提案し、官民一体となった「町づくり」を進めることが重要ではないでしょうか。



②日田市豆田町の町並み



①町づくりについての研修

# 産業文化祭

(第二十二回商工祭)  
開催される

本年の産業文化祭は、例年より2週間遅れの11月23日(日)に、商工祭と農業祭は鮎緑および鮎緑駐車場に於いて、また文化祭は中央公民館にて開催されました。

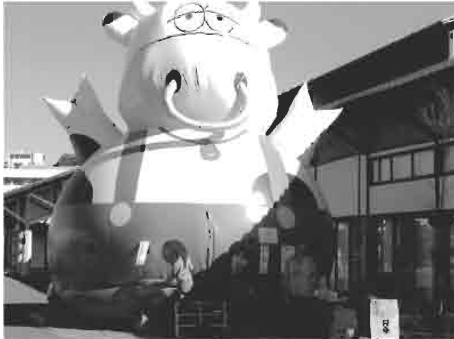
当日は、雲一つ無い見事な晴天に恵まれ、何時もこのように人が集まればと思うほど活気に満ちた1日でした。



大抽選会1万分の2  
特賞のお二人



女性部のおでん、唐揚げは売り切れ大盛況



青年部によるフワフワトランポリン



【商工祭出店風景】

目玉商品のマヨネーズ定価で  
こうだったらな～



餅なげ 1200個の餅もあつという間に



甲佐高校のバザー

将来の甲佐町を  
担う若人達頑張れ

## 青年部 県外研修



十月の四～五日にかけて、他町村の祭を勉強しようという目的で、宮崎県の国富町へ行き「国富町民祭」を視察してきました。雰囲気としては、甲佐町の産業文化祭に似ていましたが、祭は大変賑わっており町民全員が盛り上がりつつある感じがしました。屋外では商工会とJAによる物産展、車や農機具の展示会、ステージでは太鼓やバンド演奏、中学生の吹奏楽、保育園児の遊戯、また、体育館では著名人の後援会、生け花など様々なイベントが二日間に渡り行われていました。町の規模は、甲佐町とさほど変わらないのにその違いには大変驚かされました。その他にも地元の青年部の活動も視察することができて、今後の祭に取り込むに当たり、大変有意義な研修となりました。

\*\*\*\*\*

# サントリービール工場視察

上益城商工会女性部合同研修会が八月八日(金)嘉島町「松前記念館」で開催されました。皆さん覚えていらっしゃるでしょうか。鮎まつりにお坊さんバンドで長髪のお坊さん達がメインパークで演奏されたのをすっかり髪を落とされてお坊さんになっておられたので見違えてしまったのです。その時の浄光寺住職 寒香知軒氏の講演が行われました。「人生を豊にする暮らしと顧客とのコミュニケーション」という演題で愛用のギターを片手に話をされました。話よりもすばらしい声と歌とギターの演奏にしばし日頃のあわただしさを忘れて心静かにここだけ時間が止まっているようでした。昼食をはさんでこの夏、嘉島町にオープンしたサントリービール工場を視察研修、最新のコンピュータ等を導入したビール工場に雇用数はまばらでした。これも新しい時代の流れなのかと少し複雑な思いました。

# 相良村との交流

九月二十四日(水曜日)、商工会において建設技術研究所、国土交通省川辺川ダム砂防事務所、相良村からの来甲を受け、女性部と廃油を使った石けんづくり等についてデイスカッシュを開催しました。石けんづくりを始めたきっかけや、町や商工会の活性化への結びつき、今後の取り組み・展望について等活発な意見交換が行われました。又、石けん工場も見学してもらい、真っ黒になつて石けんづくりをしている現場に足を踏み入れ体験してもらいました。天候の加減でしょつか、油のせいでしょうか、見つめられて、少々石けんがいつもと違っていた様でした。しっかりと寝かせることにしましょう。

# 第六回商工会女性部「全国大会in鹿児島」

十月七日(火曜日)今年是全国連合会のおひざ元、鹿児島県鹿児島市民文化ホールで全国大会が開催されました。本場大島紬に身をつつんだ百名近い女性部さん達が私達を迎えてくれました。それはすばらしいものでした。さすが鹿児島です。大会セレモニーの後、九州ブロック大会をはじめ、全国ブロックから最優秀賞として選ばれた代表六ブロックの女性部員さんによる、主張発表大会が行われました。

どのブロックも、活発な女性部の活動がなされていて、行政と商工会と女性部のいっとながりのなかで、すばらしい町づくりになっている様でした。感動の主張大会でした。休憩をはさんで、基調講演が行われ、島津興業(株)社長 島津公保氏により「歴史に学ぶ近代経営」をテーマ講演がされました。久しぶりに学生時代にどって歴史の勉強をしました。ちょっと固いお話でつかれ(？)しましたが、その後、会場を城山観光ホテルにうつして交流会が開かれました。なにせ全国から貸切バスが集まっているとあって、文化ホールから城山までの遠いこと。それに、ホテルのメイン会場の交流会をモニターテレビで見ながらの私達の会、おえら方のご来賓の多いこと挨拶と紹介だけで約一時間。せっかくなのテーブルの上のおごちそうが...世界的活火山桜島の迫力と、錦江湾を手取るようにながめ、燃える桜島を満喫してきました。



# あこがれの博多座観劇

上益城商工会女性部正副部長研修

十一月十九日、今回私達が視察研修地として訪ねたのは、福岡県の南部東端に位置し、南に耳納連山、北に筑後川の清流が流れる豊かな自然環境に恵まれた町、浮羽町。地域の人々とのふれあいの場をということで、高齢者等まちかど交流事業の実践の場として空き店舗を活用して、まちかど交流サロン「キラキラうきは」を商工会と地域の架け橋として、高齢者等の外出支援やサロンの活動を通して来街者数の増加を図り、街にぎわいを創出することを目的に設置されました。

商工会の女性会員二十名程がホームヘルパーの資格を取得し、町民とのふれ合いを通してお年寄りに生きがいを見いだして、ともに町のにぎわいの拠点地を目指しています。これもやはりお行政と関係団体との連携のもとに成り立つものだと思えました。

女性部長は町の議員さんだということ。研修の後には楽しみにしていた博多座観劇、中国四千年最後の王朝・清朝に君臨した「西太后」。その生涯を華麗に・劇的に描いた大作。母であることは許されず、女としても生きてはならぬ運命を背負わされる「西太后」その生き方の真実がひとりの人間としての生き方に感動し、涙なしては見られませんでした。感動の後、夜の博多の町を散策。川辺に並ぶ屋台でおでんを片手にちよつと一杯。解放感とスリルで楽しいひと時でした。たまにはこんな研修もいいものです。



# 私の独り言

今の日本は確におかしい。経済が筆頭で、政府の政策も不景気につき無茶苦茶になっている。元々日本に週休二日制は似合わない。資源のない日本の発展は、必死で働いた結果、豊かな他国も羨む日本国に成長したのだ。諸外国にまんまと乗せられて、休日を増やし、労働法で操業短縮し、法の網をかけ、なるべく働かないように政策転換した結果が現在の日本ではないか。

ついでに美德という言葉は死語になったのか。おしとやかな、いつも恥じらいのある、美しい日本女性はどこにいったのか、残念でならない。そこで提案、美しい町づくりはなにもハードなことでもなくても良いのでは、素敵な日本女性のいる町(身も心も体も)にはそれだけでお客様がふえるであろう。せめて全員和服を着用してみたらどうだろう。そのような、ゆとりと安らぎのある町に私は住みたい。

# 第三回 おいでまつり (青年部主催)

去る、八月十五日(金)に、第三回おいでまつりが行われました。どの天気予報でも雨と言われる中のスタート。みごと最後まで雨は降らず、無事に終わることができたのでした。今年は司会に女性部の応援もあり、去年以上にステージの上は盛り上がりを見せました。巨大ソーメン流しに、超豪華景品を用意したクイズ大会、抽選会とたくさんの子どもの皆さんに参加いただき本当に有り難うございました。来年も我々青年部で楽しいイベントを考えて「おいでまつり」を開催いたしますので楽しみに待っていて下さい。最後に商工会長をはじめ、協力をして下さいたいと思います。

有り難うございました。



賑わいを見せたイベント会場



大人気の青年部バザー



140mのそうめん流し「おいしい」と評判でした。

任意保険だけで万全ですか？  
わずかな掛け金で安心運転。

## 自動車見舞金共済

くまもと共済の自動車共済

- ★自動車事故に係わる人身事故は全てOKです。
- ★任意保険などに関係なく(あなた)にお支払い。

車種別共済掛金 (単位:円)

車種	月払	年払
1 自家用車 小型乗用車	1,000	11,000
2 自家用 軽四輪乗用車	500	5,500
3 自家用貨物車 (2トン超)	2,500	27,000
4 自家用貨物車 (2トン以下)	1,500	17,000
5 自家用 小型貨物車	1,000	11,000
6 自家用 軽四輪貨物車	500	5,500

●お問い合わせは、甲佐町商工会へご連絡下さい。☎ 234-0272

## 第8回 くまもと物産フェア開催

去る、11月1日～3日に熊本県の物産振興と経済浮揚を図るため、各地自慢の物産品を一堂に集め「第8回 くまもと物産フェア」が開催されました。

今年には長引く不景気の為か、例年より入客が少なめの様でしたが、それでも大きな声飛び交う活気に満ちた3日間でした。

その中で、甲佐町からは21世紀有機養蜂園のみが出店され、自慢の品を販売し、甲佐町の宣伝に孤軍奮闘多に頑張ってくださいました。本当にお疲れ様でした。

## えびす祭

# 商売繁盛を願って

11月20日市街地4繁栄会主催でえびす祭を開催しました。昔の栄華を今一度と願いを込めて。



青年部  
井上 和彦

(井上石油)

- S49.10.19生
- 好きな女性のタイプ うちの嫁ご
  - 好きな言葉 芋焼酎
  - 「みなさん、ちよいと(屋台)で待ってります」

## 部員ご紹介



女性部  
河内 八枝子

- 住 所 甲佐町緑町311-10  
河内洋服 メナード化粧品
- 家 族 夫、私
- 部長歴 平成9年5月～平成13年5月
- 推薦者の一言  
若さと美貌一流のスタイリスト